

ふるさと寺尾

5月号

令和8年 4月30日発行



寺尾の教育目標 【わくわく ぼかぼか きらきら】

- 【わくわく】 「よく遊び、自ら学ぶ」子を育てます。
- 【ぼかぼか】 心、体、命を大切にし、自他ともに尊重する子を育てます。
- 【きらきら】 人・もの・ことと豊かにかかわり、地域や学校を大切にすることを育てます。



あいさつから始まる元気な生活



校長 中山 正之

暖かさが増してきて、日毎に過ごしやすくなってきています。ただ、ともすると日中は汗ばむほど気温が上がる日があり、今年もまた早い時期から暑くなるのかと少し心配にもなります。

さて、1年生が入学してそろそろ一か月になります。授業に少しずつ慣れ、休み時間には校庭で元気に遊ぶ様子が見られます。教室では笑顔で過ごしている子がとても多く、学校の生活になじんできていることが分かります。てらびよ育て隊の新1年生見守りサポーターの皆様や先生達に見守られ、一つひとつではありますができることが増え、日々着実に成長していることが感じられます。4月21日には「新入生を迎える会」で全校児童が集まり、上の学年の子ども達から大きな歓迎を受けました。今後は、ペア活動なども始まります。多くの人と交流を重ねながら、学校生活を豊かにしていってほしいものです。

ところで、私達は毎朝校門で子ども達を迎えているのですが、4月以来、子ども達の元気な「おはようございます。」の声が数多く聞こえることに驚いています。寺尾小ではこれが当たり前の風景だと思いましたが、とても嬉しい驚きでした。特に私は新しく来た校長ですから、子ども達は慣れるまで気後れしてしまうかとも思っていたのです。ところがそんな心配など関係なく、どの学年の子ども達も実に元気な声であいさつをしてくれます。どうしてだろうと考えてみて、一つ気付きました。それは子ども達の登校中、学援隊の皆様をはじめ、とても多くの大人達が見守ってくださっていることです。私が目にしたのはまだ正門だけですが、おそらく通学路の至る所に地域の方々が出て、子ども達に優しく接して下さるからではないかと思うのです。つまり、大人が見守っていることで子ども達は安心し、顔が自然と前を向くようになり、元気にあいさつができていのではないかと思うのです。これが当たり前のこととしてできているのは、とても大切なことです。良い学校に来たなあと思うとともに、この良さを持ち続けていかななくてはと感じています。

連休が明けると、初夏へと季節が移っていきます。学校や地域の行事もたくさん始まります。どの学年の子ども達も元気よく登校し、楽しみながら毎日を過ごすことを願っています。